



from KAWASAKI  
川崎

大人が追い込みをし、網の中を確認する子どもたち

## メダカも小さな住民です

### 「クロメダカ引っ越し」大作戦

門崎地区は希少なクロメダカが多数繁殖していることで注目されています。19年度からは場整備工事が始まることから、一時的にメダカを保護し各家庭で飼育しようと4月22日、門崎小の児童や岩手大の学生など約60人が参加し、メダカの引っ越しを行いました。

児童らはメダカの育て方を学び、産卵用人工水草「らんも」を割りばしと黒いアクリル毛糸を使って製作。その後小雨の中、近くの用水路で網を使ってメダカを捕獲。網にはドジョウやザリガニもたくさん入り、子どもも大人も夢中になりました。

from DAITO  
大東



上 コナラなど新緑がさわやかな森のステージで佐藤洗さん奏でるアコーディオンの音色に聴き入る参加者  
左 オカリナ奏者の瓜生満美さんは澄んだ高音で心に響く演奏を披露



from HANAIZUMI  
花泉

おすまし顔でしずしずと歩く園児

## 稚児行列皐月の空に映え

### 花泉保育園で花祭り

1カ月遅れの花祭りと子どもたちの健やかな成長を願った花泉保育園(宇津野弘人園長)の稚児行列は5月8日、催されました。

花泉地区清水の町から寿光荘まで、年長・年中組41人の園児がみやびやかな狩衣を身に着け、頭には男の子は烏帽子、女の子は宝冠を、手には桜の花を持ち、母親らに手を引かれ華やかに練り歩きました。

年に一度の稚児行列を楽しみにしていた沿道の市民は、優雅な稚児行列に「かわいいね」と目を細めながら見守っていました。

## 川面にニジマスがキラリ

### いつくし渓流釣りっこ大会

厳美童子(藤原孝夫代表)が主催するいつくし渓流釣りっこ大会は5月4日、厳美町のいつくし渓流自然広場で催されました。親子で自然と触れ合う機会をつくりたい、広場の良さを知ってほしい、という思いから始められた同大会は今年で11年目。好天にも恵まれ、釣り愛好家や親子連れなど約300人が集まり例年以上のにぎわいをみせました。親子で参加した首藤利喜君(猿沢中1年)は、「大きい魚を逃してしまった」と悔しがりながらも、釣り上げたネットいっぱいの魚に満足そうでした。

真剣な面持ちの人、子どもを笑顔で見守る人、さまざまな表情があふれた大会となりました。



from ICHINOSEKI  
一関

川に放たれたニジマスやイwana狙って釣り糸を垂らす参加者